

## 2026 年(令和8年)度入学者選抜【出題意図】

選抜区分	実施日	科目
一般選抜 中期	2026 年 2 月 27 日(金)	英語

[1] 発音・アクセント問題	英語の音声体系における発音とアクセントに関する基礎的な知識を測定します。複数の単語の中から発音やアクセントの位置が異なるものを識別する能力を問います。これを通じて、英語の音声的特徴を正確に理解し、リスニングやスピーキングの基礎となる音韻認識力を備えているかを確認することを目的としています。
[2] 文法・語彙問題	英語の基本的な文法知識と語彙運用能力を測定します。関係代名詞、前置詞、動詞の形式、時制など、大学レベルの英語学習で必要となる頻出文法項目について、文脈に応じた適切な形式を選択する力を問います。これらを通じて、英語の構造を正確に理解し、実際の文脈で適切に運用できる基礎力があるかを確認することを目的としています。
[3] 読解問題(会話文)	日常的な話題を扱った会話文を通じて、英語の実用的なコミュニケーション能力を測定します。主題の把握(問 1)、細部の理解(問 2)、文脈に即した適切な表現の選択、および英語での自己表現力(問 3)を問います。これらの設問を通じて、自然な会話の流れを理解し、文化的背景(Kit Kat と「きっと勝つ」の関連)を含む情報を正確に読み取る力、さらに自分の考えを英語で表現する基礎力を備えているかを確認することを目的としています。
[4] 語順整序問題	英語の文構造に関する理解と、正しい語順で文を構築する能力を測定します。単なる語彙や文法知識だけでなく、前置詞句の配置、関係代名詞節の構造、複雑な名詞句など、複数の文法規則を統合的に運用する力を問います。これを通じて、英語特有の構文を理解し、意味の通る正確な文を組み立てる実践的な能力を備えているかを確認することを目的としています。
[5] 読解問題(説明文)	大学での学習に必要な科学技術系のアカデミックな英文を正確に読み解く能力を測定します。和訳(問 1)では複雑な文構造の深い理解を、要約(問 2・問 3)では専門的情報の抽出と整理能力を、真偽判定(問 4)では詳細な読解力と論理的思考力を問います。これらの設問を通じて、地震防災技術(E-Defense)などの技術的内容を含む英文の論理展開を把握し、重要な情報を正確に理解・処理する総合的な読解力を備えているかを確認することを目的としています。